

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 倍量	感染症(等)	出典	概要
												細菌感染	J Eur Acad Dermatol Venereol 2007; 21: 818-821	2000-2004年にバリの性病クリニックに紹介された患者に おけるキノロン耐性淋菌 (QRNG) 感染率を評価した。淋 菌症例数は2000年 (41例) から2002年 (12例) に減少した が、2004年には60例となり増加に転じた。QRNG感染率は 2000-2002年に1.3%、2003年に22.7%、2004年には30.2%で あった。QRNG感染率は男性とセックスをする男性やHIV 感染者で高かった。
												ブドウ球菌感 染	日本組織移植学会 雑誌 第6回日本組 織移植学会総会・ 学術集会 2007年8 月4日	肺動脈ホモグラフトの移植を受けた2歳男児が、術後6日 に39℃の熱発を認め、CRP、WBCも共に上昇した。術中 に提供されたホモグラフト解凍片から多剤耐性MRSAが 報告された。移植された肺動脈弁は凍結前の培養検査で は抗生剤処理前・処理後共に陰性であったが、同ドナー の抗生剤処理前後よりMRSAが検出されていた。MRSA または真菌が1検体からでも検出された場合は、同ドナー から摘出された組織は全て移植不可とすることとした。
												HIV感染	J Acquir Immune Defic Syndr 2007; 45: 581-587	中国 Beijing で男性とセックスをする男性 (MSM) における HIVおよび他の感染性疾患の有病率ならびにリスク行動 を調査した。2004年は325名、2005年は427名、2006年は 540名のMSMが参加した。HIV感染率は2004年には 0.4%、2005年には4.6%、2006年には5.8%であった。この 増加は梅毒の増加、自己報告による性行為感染症既往 の増加、多数の性交相手を持つ割合の増加、コンドーム の使用率の低さと関連していた。
												鳥インフルエン ザ	ProMED-mail20070928.3212	N5N1トリインフルエンザウイルスは妊婦の胎盤を通過可 能であり、胎児に感染することが北京大学の研究者らに より報告された。またウイルスが肺だけでなく、胃腸管、 脳、肝臓および血液細胞へ拡がるとのエビデンスが示さ れた。
												ウイルス感染	ProMED-mail20070930.3228	オーストラリアQueensland州で蚊が異常発生し、ロスリ バーウイルスが拡大している。通常は北部の熱帯地域で 優勢であるが、Brisbane南部における過去4週間の感染 者数は、昨年 (2006年) 同時期のほぼ450%である。 Queensland保健局の発表によると、過去4週間に報告さ れた感染者数は93例であった。
												エボラ出血	ProMED-mail20071003.3265	2007年10月2日、コンゴ民主共和国保健局は、Kasai Occidental地域における最近のエボラウイルス感染によ り、これまで10例が死亡し、確定症例数は25例となつたと 発表した。更に疑い症例49例が検査中である。